特集 危機管理産業展2017「出展各社の最新製品情報」

災害・非常時に強い業務用無線機器を展示

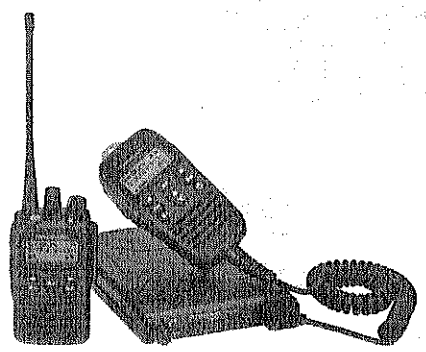
八重洲無線

八重洲無線は、危機管理産業展2017において、事業リスク対策ゾーンの非常時通信出展エリアで、平時から非常時に至るまでの業務連絡と情報共有に最適な業務用無線機器を紹介する。

施設間、本社―工場間、高層ビル、地下―地上間など、広域の通信エリアや拠点間の連絡を必要とする場合に有効な広域デジタル無線システムをはじめ、防災行政用無線の移動系、同報系システムを一体的に整備が可能で規模に合わせ簡易システムから大規模なシステムまで幅広い拡張性を持つ260MHz帯デジタル防災行政無線システム、BCP（事業継続計画）対策用、地域活動・企業の連絡用無線として有効な、基本性能に優れ堅牢性の高い業務用無線などアプリケーションを含め展示を行う。

また、消防署活動用など災害現場の過酷で緊迫した状況下での連絡に適した業務用無線機、自主防災など地域の災害対策に有効な簡易無線や免許や資格が不要な特定小電力トランシーバーなど、危機管理に関連する様々なソリューションを紹介する。

ブース・3J07



STANDARDデジタル業務無線

災害・非常時に強い業務用無線機器を展示

災害・事業リスクなどあらゆるリスクに対処

Risk Control in Tokyo

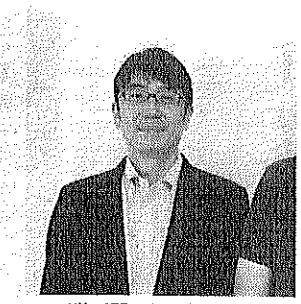
RISCON TOKYO

危機管理産業展2017

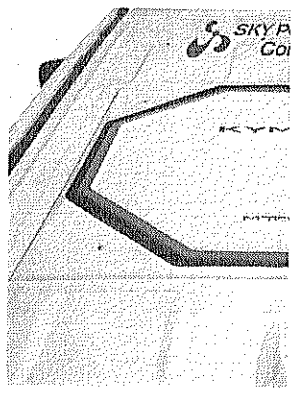
「危機管理産業展２０１７」（ＲＩＳＣＯＮ ＴＯＫＹＯ ２０１７）が10月11日(水)から13日(金)までの３日間、東京ビッグサイト（東京都江東区有明３―11―1）の西ホールと会議棟で開催される。主催は東京ビッグサイトで、東京都が特別協力する他、多数の官公庁が後援する。

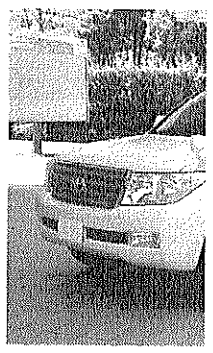
同展は、国内唯一の危機管理に関する総合トレードショーとして２００５年から毎年開催されており、今回で 13 回目を数える。危機管理に関わる行政や企業が一同に会し、「防災・減災」「セキュリティ」「事業リスク対策」に関わる製品やソリューションの紹介に加えて、多数のセミナーやプレゼンテーションが行われる。

今年はさらに、自治体や企業の事業を根幹から揺るがすリスクである「サイバー攻撃」にフォーカスした特別併催企画『サイバーセキュリティワールド』を実施する。また、東京都が「首都東京の危機管理」をテーマに、関係機関による施策の情報発信や装備品の展示などを行う。さらに、災害発生時に活躍する消防装備や自衛隊の装備品等の他、東京消防庁による救出ロボットの紹介・実演なども行う。

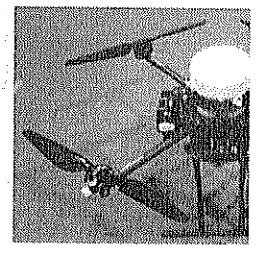


宇宙・衛星事業部門事業戦略部長・大沢響氏(左)、同部通信事業企画調整担当主幹・福原近氏





写真㊤：カイメタ社製平面アンテナ
写真㊦：天板にアンテナを組み込んだ車



衛星通信機能を搭載したドローン

Bird」「EsBi atPhone2」を展示する。

スカパーJSAT宇宙・衛星事業部門 事業戦略部長・大沢響氏は「当社の衛星通信サービスは、電力・ガスなどのラ害時の人命救助活動に用いられる特殊車両等でも迅速な通信の確立が可能となる。平面型のメリットを活かし、将来は飛行機や船舶に導入することも想定しているという。

ブースでは、スカパーJSATの関係会社である衛星ネットワークとJSAT MOBILEが扱うサービスと製品も展の丘」に本システムが設置されている。

メタ社の平面型アンテナですブースはもちろん、屋上展示場に展示するアンテナを実装した車もぜひ見に来てください」としている。

ブース・3C05

防災用街角ラジオ「ミーアキャット」

暁電工

暁電工は防災用街角ラジオ「ミーアキャット」を展示する。また、同製品を小型化した「ミーアキャット ミニ」と組立式でイベント等に搬送可能な「ミーアキャット ハンディ」も同時に展示するとしている。

近年、世界的に大地震が多発しており、メキシコで9月に複数回にわたって起きた地震も記憶に新しく、日本においても昨年4月の熊本地震や2011年の東日本大震災が発生しており、そして南海トラフにおけるM9・0を超える大地震や、首都を襲う直下型地震が発生する確率が非常に高いとされている。そのため、現在では「地震や火山噴火などの自然災害からどのように身を守るのか」「災害発生時にいかに早く情報を入手し、避難行動を起こすことができるのか」の2項目が重要なキーワードになっている。

「防災用街角ラジオ ミーアキャット」は、一般社団法人防災安全協会の防災製品等推奨品の認定を受けており、太陽光発電とバッテリーで駆動する独立蓄電方式を採用しているため、商用電源は不要。どこにでも設置することができ、夜間や停電時でも継続して貴重な情報を拡声放送し続けることが可能なため、災害時に地域住民に危険を呼びかけることができる。特別な配線工事や維持費としての電気代が掛からないため、ランニングコストの軽減も図れる。また、同製品の制御箱内にはハンドマイクが設置されており、局所的な範囲での拡声放送ができるため、災害時に地域住民に危険を呼びかけるだけではなく、避難訓練や祭りといった地域行事に活用することも可能となっている。

栃木県那須町では防災行政無線のデジタル化整備工事を行ったが、放送の行き届かない地域等があり、防災行政無線を保管するものとして2016年に「防災用街角ラジオ ミーアキャット60 戸別受信機・防災ラジオ対応型」を町内の平地に10基、常時観測火山である那須岳の登山口駐車場にあるトイレへ1基（分割型）、那須岳山腹の避難小屋へ1基（分割型）の設置工事が完了している。那須岳は常時観測火山に指定されている活火山であると同時に、紅葉の名所としても知られる登山客や観光客が多く訪れる山である。国内でも西之島や御嶽山、桜島の噴火など、火山の噴火は身近な災害といえる。山では電気をとることが難しく、また携帯電話の電波が入らない場所も多くあるため、今まで那須岳に訪れる人々に噴火や地震などの災害情報を知らせる手段がなかった。同製品の特長が評価され、採用にいたったという。那須岳では那須町役場から放送する災害情報等を受信可能だったため、災害時には拡声放送してすぐに避難行動を促すことができるようになった。

同様の特長が評価され、秋田県の秋田焼山での導入が進んでおり、登山道にある避難小屋に設置した。また南海トラフにおける大震災で甚大な被害が想定される地域でも採用が広がっており、

静岡市清水区での設置例

[ミーアキャット60]

減災＝早い情報

防災用街角ラジオ

ミーアキャット

戸別受信機・防災ラジオ対応型

●太陽光発電とバッテリー駆動による独立蓄電方式。電源のない場所にも設置可能。

●防災行政無線の放送を屋外で継続して聴取可能。停電になっても拡声放送し続ける。

●防災行政無線の聞こえにくい地域等を補完する簡易屋外拡声子局として利用可能。

デモ体験受付中！

株式会社 暁電工
〒427-0017 静岡県島田市南1丁目9-5
TEL 0547-33-2500 FAX 0547-33-2501
http://www.akatsukidenkou.com/